



SDGs連携アワード 連携事例大募集

募集期間

令和6年5月27日～8月9日

応募方法

左記QRコードもしくは下記サイトから、案内に従ってご応募ください。

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013053.html>

SDGs連携アワード



SDGs連携アワードとは

2以上の企業・団体によるSDGs達成に向けた取組のうち、汎用性の高い事例を表彰します。
パートナーシップを通じた企業・団体の取組を促進させるための事業です。



表彰部門

大賞 25万円

部門賞 各10万円

ローカルビジネス部門賞

ローカルアクション部門賞

パートナーシップ部門賞

ユースアクション部門賞

SDGsローカルハブ都市特別賞 10万円

応募のメリット

メリット1

情報発信効果

- 応募された全ての取組を事例集として掲載、配布
- 表彰式の開催による露出効果



メリット2

連携の強化

- 業種を超え、様々な事業所・団体と連携するきっかけになる
- 他事業所・団体の取組を知り、自分たちの取組の参考にできる

問合せ先

静岡市 企画課 移住・SDGs推進係

☎ 054-221-1022



スケジュール

令和6年5月27日 応募開始
8月 9日 応募締切
12月ごろ 受賞事例発表(市HPにて発表)
令和7年2月 表彰式

令和5年度SDGs連携アワード 大賞受賞事例

『価格高騰の化成肥料をなんとかせねば！ならば茶細粉を活用してみよう。』

お茶の製造過程で排出される「茶細粉(ちゃほそこ)」を堆肥に混ぜ、肥料として茶畑に活用することで、循環型農業を実現している。化成肥料の使用量を減らすことで自然環境への負荷を緩和しつつ、お茶の品質を低下させない、お茶のまち静岡の強みを活かした取組。

評価のポイント

汎用性の高さ

シンプルながら、経済・環境・社会の3側面それぞれに高い効果が期待できる。現実味があり、一般に普及しやすい取組。

取組のきっかけ

コスト削減と品質の維持

化成肥料の価格高騰をきっかけに、製造コストを抑えつつ、お茶の品質を維持する方法を検討し、お茶生産者と連携して実践。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goalsの略称で、2015年9月、ニューヨークの国連本部で行われた国連サミットで採択され、2030年までに達成を目指す国際目標のことです。

「誰一人取り残さない」という理念のもと、貧困や不平等、格差、気候変動・環境汚染など、様々な問題を解決するための17の目標を設定しています。

静岡市の取組

静岡市は平成30年に「SDGs未来都市」「SDGsハブ都市」に認定され、若者や企業・団体の取組をつなげ、発展していくための伴走支援や、SDGsの世界モデルとなりうる「暮らし方と社会システム」づくりに取り組んでいます。

静岡市SDGsウェブサイト

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/p008404.html>

